

# 防災通信

No.40号

2023年6月1日

県ドリームハイツ防災隊 教育広報部

TEL&FAX 045-851-2596

県ドリームハイツ(以下、ハイツという)での防災は、地震・停電により発生すると想定される被害を最小限にする対策を準備していくことが重要であります。

これを踏まえて、本号ではハイツのエレベーターについて、**安全機能**、**エレベーター室内に閉じ込められる危険性**及び閉じ込められたとき**救出要求するための適正行動**を記述します。

⇒**救出される手順**は整っています。皆様、**本号記述の手順**を心に留め置き願います。

## 1. 現有エレベーターの「安全機能」と「エレベーター室内閉じ込め」

### 1.1 安全機能の概要

#### 1.1.1 自動着床装置

震度5以上の地震(注1)及び停電が発生したとき**自動で最寄り階に移動してドアが開く**。(注2)

注 1:自動着床装置は揺れ方、揺れ方向等により震度5未満でも働くことがある。

注 2:ドアが開いている時間:15秒⇒15秒で降りられずドアが閉まってしまった場合は、**ドア開ボタン**(写真1参照)を押せば再度開く/ただし、停電の場合この操作が1分を超えると開かなくなる。

#### 1.1.2 補助電源(バッテリー)

- ・停電の場合、エレベーター室内は一瞬真っ暗になるがバッテリーによりマメ球が点灯する。
- ・このための専用バッテリーは30分程度持続する。

### 1.2 「エレベーター室内閉じ込め」の発生

上記1.1項のとおり安全機能は向上していますが、万能ではありません。

エレベーター室内閉じ込めの可能性は残っています。(下記例参照)


- (1)**直下型地震**(P波～S波間が極端に短い場合)では**自動着床装置が作動しない**ことがある。  
⇒途中階で止まり、最寄り階に移動しない。
- (2)ケガなどにより安全装置が働いても1分以内に降りられなかった場合(停電で止まったとき)
- (3)エレベーターの**駆動機構が壊れた**場合
- (4)レールが曲がり、**エレベーター室の移動ができなくなった**場合 他

## 2. 「エレベーター室内閉じ込め」回避と閉じ込められたときの基本行動

2.1 エレベーター搭乗中に地震が発生したときは(自動着床装置が作動するか否かにかかわらず)**全ての階のボタン**(写真1参照)を押し、止まった階で速やかに降りる。

2.2 **自動着床装置**が作動して、最寄り階に停止/ドアが開いたときも速やかに降りる。

2.3 **エレベーター室内に閉じ込められてしまった場合**は次の要点を認識して行動する

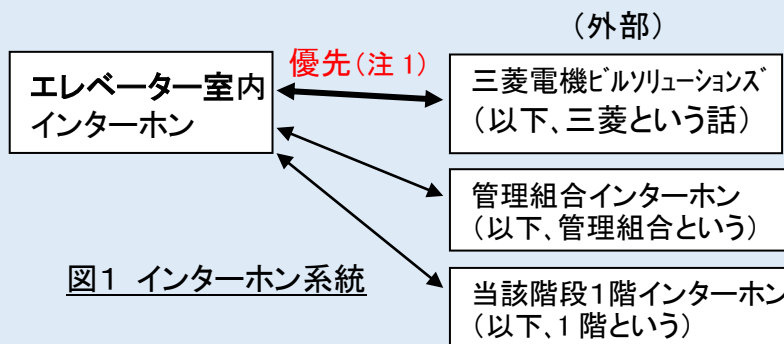
- (1)エレベーターは各階に着床しない限り、**ドアは内部からは開けられない**構造となっている。  
(エレベーター空間の底への落下、かごと壁の間に挟まれる等の重大事故の危険大のため)
- (2)**外部へ連絡し、救出要請を優先して行う**。  
⇒外部へ救助を求める**適正手順**、**要点は3項(裏面)**による。← 
- (3)救助要請後は落ち着いて救助を待つ。(余分な動きは体力の消耗と精神的な不安定を生む)

### 3. エレベーター室内に閉じ込められたときの適正手順と要点

#### 3.1 インターホンによる外部の呼び出しと応答

##### 3.1.1 外部の呼び出し

外部から応答があるまで**非常ボタン**(写真1参照)を押し続ける。(下記優先1、優先2参照)



注1: 閉じ込めから救出するためには、**手動巻き上げ**によるエレベーター室の移動、ドアの**手動開扉**(専用 Key を使用)が必要であるが、この救出作業は三菱でしかできない。

∴ 作業者の命にもかかわる**事故の危険大**のため、ドアの手動開扉専用 Key は**三菱(保守会社)**のみが持っている。  
⇒ そのために**インターホンのつながりは三菱が優先**となっている。(下記参照)

##### [三菱との通話の優先]

優先1: 先に管理組合または1階とつながった場合、通話中にも**三菱の応答があるまで非常ボタンを押し続ける**。

⇒ 押し続けることにより、三菱からの応答があったときは管理組合又は1階との通話に割り込み、**優先して三菱とつながる**。

優先2: 三菱とつながった場合、管理組合及び1階からの応答は三菱との通話には割り込めない。

##### 3.1.2 補助電源(バッテリー)

停電の場合、インターホンの電源は専用バッテリーにより通話でき、30分程度持続する。

#### 3.2 外部との応答

(1) 外部(三菱、管理組合、1階)からの問いに対して**慌てずはっきり**と伝える。

問いの例⇒ そのエレベーターの固有番号(写真1参照)、搭乗人数、困っていること 他  
なお、**管理組合及び関係者は現地確認、救出の段取り等に奔走**することになります。

ついては、三菱以外との通話時も情報を漏れなく伝えるよう心がける。

(2) 外から呼びかけ、叩く音などがあった場合は室内の壁を叩くなどで応じ、存在を知らせる。



#### 「自動着床装置」稼働後の復旧

自動着床装置は1.1.1項で記述のとおり地震又は停電のとき、搭乗者を脱出させる安全機能であるが、この機能が働いた後は各階の昇降ボタンの操作は不可(停止)になります。三菱が全機の安全を確認後復旧させることになります。ちなみに5月11日の地震で止まったエレベーター数は60機、全78機の安全確認後5時間で全復旧しました。**安全のための停止**の理解をお願いします。